

【主人公たちへ】

先月ミラノ・コルティナオリンピック 2026 が開催されていました。ウィンタースポーツが大好きなので、連日テレビやインターネットでオリンピックの様子をチェックし、中でもハーフパイプの平野歩夢選手に注目していました。オリンピック直前のワールドカップで転倒し、複数箇所を骨折したままオリンピックに出場すると知って、ご本人とは何のつながりもないのに、勝手に心配して注目していました。



ケガで心配していたのはもう一人、スノーボードビッグエアとスロープスタイルに出場した岩淵麗楽選手も、昨年膝の前十字靭帯を切断したあと手術せずにオリンピックに臨んでいました。前十字靭帯が切れたままの状態であの競技をするなんて、考えられないことです。

映像では二人共に、そんな大けがをしたままでやっているようには見えませんでした。きっとものすごく痛いだらうし、怖いだらうし、相当な覚悟をして滑っているのだと思うと、胸にこみあげてくるものがありました。そして、人はこれほど強くいられるものなのかと驚嘆します。

もう一人、注目していたのは、ビッグエア金メダル、スロープスタイル銅メダルを獲得した村瀬心椛選手です。実は、村瀬選手が小中学生のころに何度か会ったことがあり、村瀬選手のお父さんともお話をしたこともあるので(きっとあちらは覚えていらっしゃるでしょうけれど)、これまた勝手に親の気持ちで見えていました。一つ間違えば命にかかわるような事故もあり得る競技です。どんな気持ちで娘の競技を見ているのだらう、自分ならもう危ないからやめとて言ってしまうそう、などと思うと、身近な大人の理解とサポートが子どもにとっていかに大きいかということも考えさせられました。

ほかにもミラノ・コルティナ2026オリンピックでは多くのドラマがありました。オリンピック出場がかなわなかった選手や、選手を支える人々のことは、私たちの目には届きませんが、そこにもそれぞれの熱いドラマがあったのだらうと思います。

もうすぐ3年生が南花台中学校を卒業していきます。自分のやりたいことを見つけて、信念をもって、人生のドラマの主人公として力強く歩いてほしいと思います。これまで支えてくださった保護者・地域のみなさまに厚く感謝するとともに、みなさまと一緒に私たちはその思いを理解しサポートする立場で、この先もずっと応援していきたいと思っています。

校長 上代 婦美子

○部落問題学習

向野まちづくり協会から、繁田 ひとみさんに講演していただきました。繁田さんの差別体験や、近年ではSNS等による差別投稿が多いことを聞き、差別がなくなっていない事実を知ることができました。鋭い人権感覚を身につけることで、人との接し方が変わります。知らない間に人を傷つけてしまわぬよう、気付かないうちに差別してしまうことのないよう、これからも差別についてしっかりと考えていかねばなりませんね。繁田さんは今回の講演後のみんなの感想を楽しみにしておられましたよ。



○大縄大会



生徒会執行部が中心となり、企画運営してくれた大縄大会。本当は美加の台中学校とオンラインで対決予定だったのですが、インフルエンザの影響で美加の台中学校が参加できなくなってしまい少し残念でしたが、2月19日(木)のお昼休みに楽しく1・2年生の学年対抗で大縄跳び大会が行われました。結果は1年生が記録63回。2年生が49回。ということで今回は1年生の勝利！でした。



○制服のリサイクルについてのお知らせ

卒業していらなくなった制服をリサイクルさせていただきます。コノミヤテラスへお持ちください。詳細は下記のとおりです。よろしくお願いします。

コノミヤテラスで、リサイクル制服の預かり受付
 4/6.13.20(月) 10:00~17:00
 4/1.8.15.22(水) 13:00~17:00


つばめの学校 花植え隊活動


卒業式前の3/5(木)9時~。学校の花壇をきれいにしたいと思います。お時間のある方は当日下足室前にお集まり下さい。